



お取引様各位

2021年4月30日
ユアサ木材株式会社

平素は大変お世話になり、ありがとうございます。
各地駐在員、エージェントから入りました地域別産地情報を連絡させていただきます。

No. 218

マレーシア

1) 木材状況：

4月12日よりイスラム教の断食「ラマダン」が始まった。約一カ月後の5月12日まで続くこととなる。例年このラマダンの時期は、イスラム教徒のワーカーたちは覇気がなく、目もうつろになり、工場内は事故が起きやすい危険な状態になる。

以前、工場内でフォークリフトから運転手が落ちて来た光景を目の前で見た事が有る。“ドスン”と人が目の前に落ちて来たのである。流石に度肝を抜かれたが、特に断食の終盤にはよくある事だと聞いた。眠気に耐えられないのだ、というが、機械作業であれば更に危険度は上がってしまう。

断食だろうがお構いなしに生産は続けられているのである。検品の手伝いをしてくれる女性ワーカーたちは、文句を言う訳でもなく、汗水流して一枚一枚めくってくれるのである。非イスラム教徒である我々は、彼女の目の前で水分補給する事も出来ず、隠れて水を飲むのであるが、どうも中学校時代の部活でサボった時の様な妙な感覚になるのである。

この断食期間は、工場勤務者においては、夜勤シフトに応募も殺到する。まずは、水が飲める。おやつも食べれる。そして何と言っても涼しい。日中、人々が断食している間、公然と寝ていられるのである。ああ！天国の様な「夜勤」。

さて、既に世界的な木材ショックに入ってしまった。コンテナ不足に起因する海上運賃の上昇に加え原材料不足による原料高、そして新型コロナウイルス感染症対策措置による労働力の低下の三重苦の中で4月のオファーを何とか入手する。急激に上昇した価格は、我々購買サイドにとっては、「はい。わかりました」とは言えない状況なのだが、とりあえず押さえておくべきか？等と呑気に考えている内に販売担当の口が貝の様にピタリと閉ざされてしまった。「3日も返答しなければ、オファーは撤回です。」「また、来月おいで。」と言われる有様。オファーが流れてしまう。我々の常識にはない処置に対して、どこに怒りをぶつければ良いのやら。

長らく赤字操業を続けており、八方塞となっていた環境から、何とか抜け出したいと考える企業も多く、急激な C&F 価格上昇が商品離れを引き起こす点を指摘するも、全く聞く耳も持たない。巨大化した組織にあっては、不採算部門への撤退議論は続けられて来た中、何とか出口に向かって行きたい心境も解らないではないが。

「不当に価格を吊り上げて、利益を上げるものではない。全てのコストが上がっているのだ。」と言う。素材インフレにとどまらず、コロナから立ち上がった中国、景気刺激策による景気回復に有る米国にグイグイと引き摺られ、世界的インフレに発展するのだ、と豪語するシッパーも居る。こうなるともう手が付けられない。聞く耳を持たない相手と話をするのは、非常に疲れるところである。暫くは、吹く風が方向転換する地合いにはないと考える。

2) トピックス :

- ・サラワク州災害管理委員会 (SDMC) は、4 月 24 日、同州に発令されている CMCO (条件付き活動制限令) を 5 月 10 日まで延長すると発表した。26 日で期限を迎える予定だったが、再び 2 週間延長することとなった。
同州の新型コロナウイルスの新規感染者数は依然として多い。州内では封鎖措置となる EMCO (強化活動制限令) が 9 地区に発令されているが、いずれも 2 カ所を除き 5 月上旬まで延長された。25 日の同州の新規感染者数は 595 人に達した。
- ・サラワク州ビンツルで新型コロナウイルス感染者 100 数名が行方不明となっている。4 月 12 日から 21 日までの間に陽性反応と認められた人々の行方が分からなくなっているという。虚偽の連絡先を当局に伝えていたため、病院関係者が感染者と連絡がとれない状況になっている。そのため、適切な対応ができず、ウイルス拡散の恐れがあるとして当局は頭を抱えているというが、脱走者 (?) を出してしまった当局の責任は如何に。しかし、ジャングルにでも逃げ込んだのだろうか？

インドネシア

4 月も締めてみたら、現地 C&F 単価は約 6% の Up を受けて来た事となる。薄・中厚合板については、高値新記録を付け尚も上昇を続ける勢い。ひっ迫している薄物合板 2.4 mm G1 (一等品) は、数量枠の取り合いで、我々としても継続的に供給して来たお客様向けにまずは優先的に数量を確保するのが関の山となってしまっている。

さて、雨季はほぼ終わったものの、原木入荷は今も遅れが続き、契約残消化も進まず、オーダーストップとなる。必然的に月を跨いで口を開ければ値上げとなる地合い。

納期面での懸念。4 月 13 日から約 1 ヶ月のイスラム断食が始まり、生産ペースは軒並み鈍化。さらに 5 月 13 日からレバランで大型連休に突入する。したがって、5 月も必然的に生産量が落ちる事となる。先月の産地情報でも書いたが、相変わらずバルク船の配船が無い為 (月間 1 船)、入荷も当然少なくなり供給不足のアンバランスな状況は改善されないところと思われる。

次回先物のオファー（5月）については、9月生産分の交渉である。これが健全である訳が無いが、「今回これで決めるけど、来月はまた上げるよ」等と一切過去の記憶をものともせずにサラリを言い切る為、手に負えない状況となってしまった。

更には、自身のオファー価格を上げている分際ながら「米材、欧州材の価格上昇、凄いんだって？」等と言いだし、開いた口が塞がらない。

大きな Lot は却って入れ辛い環境にも有り、少量を小まめにオーダーして行く事が求められる。斯様な環境下、我々は、ネットワークを貼り巡らせタイムリーな情報を提供する事に努めて行きたい。

（インドネシア一般情報）

さてコロナ関連。新規感染者は1月末に13,000人だったが、最近では6,000人と半減してきている。ワクチン接種累計は2000万件に迫り、今や順調に収束の方向に向かっていると言う。比較は難しいが、ワクチンが行き渡っていない我が国は、一体。。。

最後に、潜水艦が行方不明になる事件について。この潜水艦は1978年に旧西ドイツが就航させ、のちにインドネシアへ払い下げられ2012年に韓国で改修されたものだという。

その韓国では、この潜水艦とは別に1月に定期点検直後の潜水艦が航行不能になるという事件が発生していたとは驚く。造船大国である韓国の面目如何に。

犠牲となった乗組員の冥福を祈るばかりである。

中国

日本政府による3回目の緊急事態宣言に並行して、木材の供給異常事態宣言が各国から発信されてきている中で、中国側からも同じような危険信号が各所から発信され始めてきている。

今回の事態は、例年と比較してはいけなない情勢である事は十分に理解している。通年この時期は3月期を終えて、年間を通して最も落ちつく時期であり、営業部隊であればこの時期の営業数字は、上層部から何を言われても、致し方ない状態を迎えるしかない時期でもあり、半ば折れそうな心を温暖な気候に瞬時うつつを抜かし、甘く咲き誇る春の花々に気を取られる時節を送っているものである。

しかし、今年は一変してしまった。

4月以降、中国 LVL においては、至上初と言っても過言ではない受注 STOP の通達を各工場から受けてしまっており、現地側もこちら側もこれまで経験のない状態に追い込まれ、どうしていいのか分からぬまま、ただただ困惑してしまっているのである。

何故受注 STOP となったのか、ここで過去の経緯だけ簡単に説明させて頂く。

- ①2020年夏場以降、コロナ後の経済活動再開に伴い、中国経済は回復し始める。
- ②2020年の年末商戦、アリババ独身の日を迎えるに当たり国内消費が活発化。
- ③世界的に物流が途絶えていた中で、中国はいち早く輸出量も増加していく。

- ④物流が多い中国にコンテナが集中。
- ⑤世界的なコンテナ逼迫問題⇒コンテナ輸送運賃高騰。
- ⑥中国国内市場のさらなる活性化に伴い、不動産価格、株価共に続伸。
- ⑦不動産価格の上昇に伴い、新たなマンション建設ラッシュが始まる。
- ⑧国内向け生産工場に合板素材である単板が高値で購入される。
- ⑨世界的な木材価格の高騰に伴い、その煽りが中国生産現場にさらに波及。
(日本からの間柱受注が一気に増加した事も要因)
- ⑩単板価格がさらに上がり、工場側として先々の価格が出せない状態に。
- ⑪現在の契約残を最後に、今後の受注を見送る事に。

さて問題は今後どうなっていくか？である。

ある程度情報を得ていた方々は、現在の状況に至る前にはある程度の予測に基づき、それなりの準備が来ていたのだろうが、後手に廻った人や情報がいまいち掴み切れなかった人達は、最終列車に乗り遅れてしまった状態となっているのかもしれない。

中国のLVL生産工場は、工場によって受注状態はまちまちではあるのだが、概ね7月一杯迄の受注残を抱えてしまっている。多い所では、8月生産分も受注を受けてしまっているが、正式な契約価格は出て来ない。今後の単板価格の動向次第では、再契約価格の打診も出てくる事だろう。それでも、先々の予約を入れる事が出来たところは、材料提供における勝ち組となる事は必定であり、現地工場への打診を怠ってしまったところは、代替品の手当て、あるいは顧客への材料手当て不足をかたくなに説明していくしか無いと思われる。

この状況は、秋口までは確実に続くと思われるが、それも場合によっては楽観論で終わってしまう事も予想される事態となっている。中国側の見立てだが、今回のような旧正月以降における受注旺盛な状態は、完全なる異常事態そのものであり、この状況が継続したまま次の旧正月期に差し掛かっていくのだろう、と予測されている。

一方で、合板工場においては、これまで中国側に対して日本からの依存度が高くなかった事が功を奏し、価格の上昇はあれど、納期問題において、深刻になっているケースは、今のところ見当たらない。

ベトナム

ベトナムにおいては、国内需要以上に海外からの受注が2020年夏場以降、顕著に増え始め、それらの工場に向けた供給に四苦八苦している模様である。なかでも、前号で記したフィルム合板生産が劇的に増加しており、その生産を中心に行う工場に対する単板供給に躍起になっている状態である。

当然ながら単板価格は、フィルム合板工場への供給に押され、上昇し続けている。今年2021年3月期の単板価格は、統計上最高値を更新してしまった。梱包用資材を生産する工場は、上がり続ける単板供給についていく事が出来ず、生産アイテムを変える、あるいは生産量を減らす、などして対応しているところ

が多い。結果として、工場生産量は梱包用資材において、不足状態が長く続いてしまっている事態を迎えており、契約残の納期遅れが、ますます深刻化してしまっている。

上述した中国のLVL工場の状態を横目に、ベトナムLVL工場に対しても、多くの注文が入ってしまっている。工場によっては、10月一杯迄の契約が交わされている。さすがにベトナムLVL生産工場においても、これ以上の新規受注を受ける事が出来ない状態を迎えてしまった。この時期に半年先までの契約が遂行されている事自体、完全なる異常事態であり、ベトナム側も難儀しているように映る。

ベトナムの場合、日本においては圧倒的に合板依存度が高い為に、今後の価格帯が気になる所である。しかし、ベトナムは、各国の上げ幅に比べれば非常に「紳士的な値上げ」を実行しており、旧正月期に一旦上がった船賃が落ち着いてくるとみれば、その分をしっかりと下げてくる立派な国である。

世界的にアゲアゲという状態にある中で、しっかり地に足を付けて、商売と向き合う姿勢は、先進国という名ばかりの脳内発展途上人達に新たな東南アジア諸国の雄として、強く知らしめていって貰いたい。素材価格が上がるから製品価格が上がる、船賃が落ち着いたのでその分は下げる、高くなった素材価格を購入しないと、今後益々供給体制が保てなくなるから、次期購入価格はこうなる、一時儲かるアメリカ等向けの生産は行わない、等々。

決して時代の流れだけで、右に倣えのような便乗値上げを実行しないベトナム。この手の立派なベトナム人経営者達が、いずれベトナムだけではなく世界の木材業界を牽引して行って欲しいと、強く感じている。我々も、意識高いベトナム人経営者のような長い目を持ち、軸を持った商売展開を実行していくべきだと、今日もベトナムから学び続けている。

間もなくベトナムでは、国花である蓮の花が咲き誇る季節を迎える。蓮の花言葉は日本においては、清らかな心、休養、神聖である。ベトナムにおいては、2011年に蓮の花が国花として認められた。ベトナム航空の尾翼に描かれているロゴマーク（蓮の花）あたりで、それを思い出す人もいないのだろうか。蓮の花が咲き誇る6月頃、ハノイの太湖では、鮮やかな色に包まれたアオザイを身にまとった女性たちが、思い思いの飾りを身にまとい、蓮の花々を背景に写真撮影を行う光景をよく目にするようになる。午前中に花開き、午後には花を閉じてしまう、蓮の花の儂い瞬間を求め、太湖には多くのベトナム人女性たちが集う。決してきつくはないその優しい匂いに引き寄せられて、我々もその瞬間の明るさについて心を奪われてしまう。

蓮の花は、咲いてから散るまで、決して虫たちを寄せ付けないと言われている。しかし我々は、まるでその虫たちのように、綺麗な衣装に身を包んだ女性たちに、目と心を奪われ、ついつい歩み寄ってしまうものである。

多くの人達が心穏やかになる事ができず、何となく気持ちアタフタとしてしまっている今の御時世。だからこそ、蓮の花に身を寄せるベトナム女性たちのように、咲き誇る蓮の花に思いを寄せ、瞬時、神聖なる気持ちを抱く時間と心が必要なのもかもしれない。泥の中に根を張り、一年に一度、美しく咲き誇る蓮の花のように。それはあたかも苦しい環境にあっても心を正しく持ち、自分の心を信じて力強く生きていくベト

ナム人のように、とも。

多くの人達が心穏やかに生きていく事が出来れば、いつしか蓮の小舟に乗ったお釈迦様が、後光を放って我々の心に現れてきてくれるかもしれない。このように神頼みに走ってしまう今の私の心境は、もはや穏やかではない。そして、これが露呈されてしまった事だけは、否定できない。

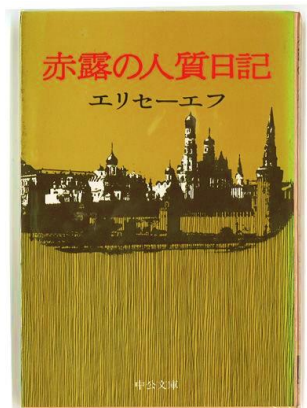
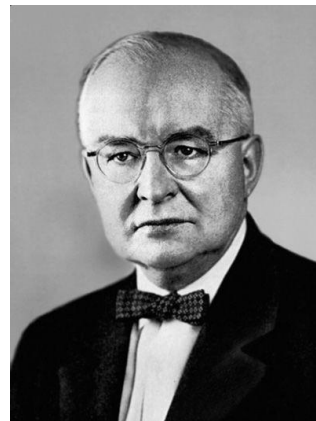
ロシア関係

AA) トピックス：

1) 「エリセーエフ商会」：

セルゲイ・エリセーエフという人物がいた。ロシアの日本学者、東洋学者である。日本語で「英利世夫」と自称していた。

生家のエリセーエフ家は、「エリセーエフ商会」と称する食料品店を営むロシア有数の大富豪。彼は、10代でパリ万国博覧会を見学したことを契機に、東洋に対する興味を持つようになった。その後、ベルリン大学に留学するが、ここで日本の言語学者・新村出と出会う（新村は「広辞苑」の編纂者として知られている）。その後、東京帝国大学国文科に入学するが、エリセーエフの帝大入学に当たって、新村や上田万年など東京帝大の教授陣が尽力したという。帝大の卒業式には明治天皇が臨席し、最前列で天皇を迎えるという栄誉も得ている。また、夏目漱石の主宰する「木曜会」にも出入りしていた。漱石の勧めで「朝日文芸欄」に評論を発表したこともある。



セルゲイ・エリセーエフと彼の代表的著作

日本からロシアに帰国した後の人生はまさに波乱万丈である。当時のペトログラード大学で日本語・日本文学の教員となったが、ロシア革命の勃発により、ブルジョワだったエリセーエフは投獄された。ソビエト政権が成立すると、一家を伴いフィンランドに亡命。この間の苦難に満ちた生活については、日本で発刊され、彼の代表作ともいえる「赤露の人質日記」に詳述されている。この著作を全文日本語で書いたというから驚きだ。この中で印象に残っているのは、レーニンのグループが知識階級や富裕者を数千人単位で逮捕、人質にした上、「労農政府は一人の共産主義者のために、一万人の反革命者と資本階級の人間を銃殺する」と新聞に発表し、その通り実行したという箇所だ。

さらにフランスに移った彼は、ソルボンヌ大学で教鞭を執るようになり、フランス国籍を取得する。フランス時代には、旧友だった谷崎潤一郎や志賀直哉の作品を翻訳し、日本文学を中心に西欧への日本紹介を盛んに行った。谷崎の「細雪」にキリレンコなる白系ロシア人が登場するが、これはエリセーエフを想定していたのだろうか（キリレンコという名前からロシア人ではなくウクライナ人であるが）。

遂にはアメリカに渡る。ハーバード大学で日本語や日本史、日本文学の講座を担当。同大学の門下生には駐日大使を務めた東洋史研究者のエドウィン・ライシャワーや、後に日本国籍を取得した著名な日本文学者ドナルド・キーンがいる（彼は2年前に亡くなった。キーンは日本国籍取得後、名前をカタカナ表記のキーン・ドナルドに改め、漢字では「鬼怒鳴門」を使用した）。ただ、彼はエリセーエフの講義を無味乾燥と評していたが・・・。

エリセーエフの日本とのかかわりのひとつの逸話をご紹介したい。日本とアメリカの間で太平洋戦争が勃発すると、東京神田古書店街周辺や京都が爆撃の標的になるのを阻止することに尽力したという。

今回セルゲイ・エリセーエフをトピックスのテーマにしたのは、ロシア帝政時代の1901年に開店し120年の歴史を持つモスクワ中心部の高級食料品店「エリセーエフスキー」（ソビエト時代の屋号は「食料品店第一号」という無味乾燥な名前）が、経営不振などから先日閉店するとのニュースに触れたからだ。驚きだった。モスクワ市民からもこれを惜しむ声が上がっている。パロック調の壮麗な内装を持つ店舗は「赤の



広場」に近く、観光名所のひとつとなっていた。だが、コロナ禍による観光客の減少や、安価なスーパーへの客の流出などで運営会社の経営が悪化。店舗がある土地の登記をめぐる法的トラブルが起き、新たな運営会社への譲渡も困難になっていたという。モスクワ市は「エリセーエフスキー」の歴史的価値を鑑み、閉店後も店舗を保存する方針らしいが、世界で最も美しいと称された店が消え去る運命を迎えていることは、誠に残念至極である。

高級食料品店「エリセーエフスキー」
開店115周年時の光景

2) 「ロシアのワクチン」:

ロシアは、ヨーロッパで新型コロナウイルスのワクチン供給が遅れる現状下、イタリアなど一部の国がロシア製ワクチンに関心を示し始めたことも契機に、ヨーロッパへの売り込みを強めている。ロシアは、これまで新型コロナウイルスのワクチンを3種類開発し、このうちの「スプートニクV」について、プーチン大統領の意向を受けた政府系ファンドが海外への売り込みを進めている。

「スプートニクV」は、最終段階の臨床試験で91.6%の有効性があったとする中間報告が英国の医学雑誌に掲載されたことが弾みとなって、これまでに中東やアジアなど50以上の国や地域で承認されている。さらにロシアは、EUの医薬品規制当局に対して「スプートニクV」の販売許可に向けた申請を行い、EU側も今月から審査を始めた。審査結果が出るには数カ月かかるとみられるが、ロシアの政府系ファンドは「イタリアでスプートニクVを現地生産するため、製薬会社と協力を進めている」と明らかにした。

プーチン大統領は先月、ロシア製ワクチンについて「絶対に信頼できるもので安心だ」と強調し、みずからも接種した。プーチン大統領には、各国が対応に苦慮している新型コロナウイルス対策で、ロシアが

欠かせない役割を果たしていることを世界にアピールする狙いがある。一方、ロシア国内では「スプートニク V」を接種する用意があるとした人は 30%にとどまっているほか、国内の製造能力が追いついていないとされるなどの課題も指摘されている。

変異ウイルスの感染が拡大し、再び医療が逼迫する中、EU の連携を重視してきた国の中からも「スプートニク V」への関心が高まっている。EU の当局が動かないなら、独自で購入することも考えるという動き。このイタリアの動向をみていたドイツも接種した人が 1 割程度にとどまっていることから、今後、ヨーロッパが共同で調達できなければと独自購入を示唆している。EU 当局だが、一部の加盟国が許可の出る前から接種を進めていることを指摘し、加盟国の足並みが乱れることに警戒を強めている。旧東側の国、例えばハンガリーやスロバキアは、いち早く国独自の基準でロシアのワクチンを承認し、既に 2 月から国民への接種を始めているのだが・・・。

ドイツ人のロシアへのワクチン接種ツアーが大人気とのニュースもあった。ワクチン接種後は、ロシア国内の観光も可能ということで、多くのドイツ人に好評を博しているという。

対米関係が悪化し、経済制裁を受けている中、ロシアはワクチンを通して欧州でのステイタスを築こうと懸命なワクチン外交を展開している。

BB) 産地現状 :

極東エゾ丸太 3.8 M 日本海側 22-30cm (CIF)	-----
極東カラ松丸太 日本海側 22-30cm (CIF)	-----
シベリア赤松丸太 日本海側 22-36cm (CIF)	-----
シベリア KD 赤松原板 日本海側 US (CIF)	US\$500 前後
シベリア KD 赤松垂木 A グレード 東京	US\$600~700 以上

3 月末現在の首都圏のロシア製品の在庫数量は約 20,500m³ で、先月末と比べさらに減少。今年 1~2 月のロシア製品の入荷は、約 66,000m³ (前年同期比 40.5%減) と、減少に歯止めがかからない。原因は先月の産地情報でお知らせしたように、産地の生産減に加え、昨冬から産地の国内輸送遅延、経由地での積み替え遅れなど、さまざまな要因が絡み合っている。

今後の入荷も低調だろう。供給回復の時期は読みづらく、品不足の市況が続いていくと予想される。産地工場の日本向けの生産は滞りがちで、欧州や中国向けが旺盛。日本へのオファを見送っているのではないかと穿った考えすら持つてしまう。産地価格は高騰しているとしかいえない状況で、さまざまな唱えが入り乱れている。赤松垂木価格だが、\$600 を軽く突破し \$700 台半ばでの成約もあるときく。日本市場では、在庫が逼迫しているため、代替品を見出すことができなければ、言い値で受けて追従せざるを得ない。さらに赤松サンギも供給不足に陥っており、産地からオファすら出てこない始末。完成品だけでなく、原板価格も引っ張られている。\$500 以上は当たり前の状況。

ロシア材の将来はどうなっていくのか。過熱する中国マーケットが収まるのを待つしかないのか。とはいえ、日本市場では、輸入材、国産材ともに、木材製品への価格面での評価が低すぎたのではないかと考え

る。今や経済はグローバルに展開されている中で、これまで木材製品価格だけがグローバル経済からデカップリングされていること自体が不自然だったということだ。買い負けする現状はますます深刻化している。木材製品に価格面でしわ寄せを強いてきた住宅等関連業界。今こそ木材業界人が声を上げ、立ち上がるべき時期が到来したと考えているのだが・・・。

ニュージーランド関係

AA) 商況/産地現状：

今年 1~2 月の中国の丸太輸入だが、これまで産地情報で述べてきたように変化があらわれている。産地別では、NZ からの輸入が 262 万 m³ でトップは変わらない。目立つところは、欧州・ドイツからの輸入。2 カ月間で 234 万 m³ と、昨年の輸入量 423 万 m³ の半分強にまで及んだ。一方、NZ、ロシアに次いで多かったオーストラリアからの輸入は、豪中関係悪化の煽りもあり、わずか 6 万 m³ という対比がみられた。ドイツ材が豪州材を補完した形だ。

このドイツ材は被害材の多いことが知られているが、買い付けの増大はそれだけでなく、欧州から中国まで横断する鉄路を使用していることによる。その鉄路使用は、中国で製品化し製材や家具などを輸出することにも利用されている。海上輸送を含む鉄路利用は、中国政府の「一帯一路」構想に則った物流ルートを使って貿易を活発化させ、経済成長につなげようとする流れを汲んだものだ。

1~2 月の中国の丸太輸入量は 952 万 m³ で、2020 年の総輸入量 5,950 万 m³ からみると、ちょうど 2 カ月分にあたるが、年初から輸入の勢いは活発である。中国向け NZ ラジアタ丸太の価格だが、先月の産地情報で述べた通り高値を更新中で、\$180 で成約したとの声もきかれる。中国の木材需要期は春先から夏場にかけてといわれている。この時期を過ぎれば価格が落ち着いていくのではないかと思う一方で、中国政府の景気振興策が木材の荷動きを活性化させているとの指摘があるように、まだまだこの傾向は継続するとの見方もある。

いずれにしても、日本国内の需要家にとっては厳しい状況が続く。住宅業界と同様、グローバル経済では商品価格自体もグローバルであるべきと意識を変える必要性に迫られている。今まさにその転換期が訪れている。

BB) トピックス（アメリカズカップ）：

先日、ニュージーランドのオークランドで世界最古のトロフィー大会である国際ヨットレース、第 36 回アメリカズカップが開催された。何年か前の産地情報でもこのヨットレースについて言及したことがあるが、改めて今回もふれてみたいと思う。

アメリカズカップ（アメリカスカップともいう）は海の F1 とも呼ばれる世界最高峰のヨットレース。開催は不定期で、開催地は前回大会の優勝チームに決定権がある。2013 年の第 35 回大会では、エミレーツ・チーム・ニュージーランドが優勝したため、今回の開催国は NZ となった。NZ の先住民であるマオリの祖先は、木製のカヌーでポリネシアから NZ にやって来たといわれており、国民は子どものころから船に親

しんでいる。NZ最大の都市のオークランドは「帆の街」と呼ばれるほどボートの所有率が高く、オークランドの住民の11人に1人が何らかの船を持っているといわれている。NZ全体のボート所有率も世界一で、世界トップクラスのヨットマンを輩出しているらしい。

本大会に先立ち、これまで「ルイ・ヴィトンカップ」として知られた挑戦艇決定シリーズが行われた。このシリーズは新たに「プラダ」を冠スポンサーに迎えたことから、「プラダカップ」として開催された。そこを勝ち上がったルナロッサ・プラダ・ピレリチーム（イタリア）が挑戦艇として防衛艇（王者）のエミレーツ・チーム・ニュージーランドと対戦。NZチームが7対3で勝利しカップ防衛を果たした。新型コロナウイルス感染拡大により開催が危ぶまれていたが、NZは同感染症への早期に徹底した対策を行い、国内での感染拡大を最小限に食い止めることに成功した。それが拡大防止策を順守した上で、このような国際スポーツイベントの開催につながった。



NZ艇（手前）とイタリア艇

尚、NZ政府観光局は、この世界的な歴史ある大会を世界中のファンとともに楽しむため、ロックスター、ロッド・スチュワートの出演するオープニングイベント「Rock the Dock」も開催した。

ロッド・スチュワートはロンドンからのパフォーマンスを全世界に向けて配信し、彼のヒット曲である「セイリング」を出場選手や観客のみならず、現地での応援・観戦の叶わないファンに届け、全世界を絆で結んだ。ロッド・スチュワートは昨年11月にNZツアーを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2022年に延期になったという。彼の2人の子どもがNZ人ということも、因縁めいた強い繋がりとなったのだろう。

コロナ禍中での国際イベントの成功とNZチームのカップ防衛は、きっとNZ市民を勇気づけたに違いない。

欧州関係

AA) トピックス：

「EU離脱後の英国」：

英国は昨年末に欧州連合（EU）から完全に離脱した。移民の増加や貿易ルールなどの政策でEUと足並みを揃えることへの根強い不満や英国内の中央と地方の格差に対する政治不信が離脱支持に向かい、離脱の結論を国民が示した。

英国は、EUとの新たな貿易ルールを紆余曲折の末、何とか取り決め、新たな時代を迎えた。「関税ゼロ」で貿易を続けるための交渉が年末にまとまり、EU諸国とのビジネスがこれまでと同じように行えるとジョンソン首相は述べていたが、現場では混乱が生じているようだ。

以前は不要だった検疫手続きが発生したことで追加費用が発生している。関税ゼロはいいのだが、EUに持

ち定める商品かどうかチェックする通関手続きが必要になった。従来、英国は他の EU 諸国に海産物を輸出していたが、離脱後は多くの書類が求められるようになった。審査手続きに時間がかかるのは海産物だけでなく、英国の誇るアパレル商品も同様だ。混乱は一時的で、時間とともに沈静化するとの見方もある一方で、これら手続きにかかる企業のコスト増は続くため、影響は長期に及ぶとの見方もある。

これら流通問題はまさに誤算と考えられているが、英国の稼ぎ頭たる金融業界も例外ではない。世界中からマネーが集まる金融センターとして名高いロンドンの金融街シティは、米ニューヨークのウォール街と双璧をなす存在だった。離脱云々のプロセスの中で、離脱すれば金融センターから外資がロンドンを離れ、他の欧州の都市に「逃げる」のではないかとみられていた。一方では、離脱に伴う混乱は一時的で、歴史的観点からシティの座は安泰と腹を括っていた感もあった。

だが、現実はそうではなかった。シティは、EU 企業の株式が欧州で最も多く取引される都市の座を失った。それに代わったのがオランダのアムステルダムといわれている。ロンドンの取引量の大半が移ってしまった。理由は単純。EU はユーロで売買される EU 企業の株式は EU 内の取引所で行うとの原則があるからだ。ロンドンは今後 1 月から EU 外となったため、企業株の売買高が減少してしまった。その他、ロンドンが得意とする金融派生商品の取引も他の国の金融センターに流れているようだ。

投資マネーや法律、金融、会計、IT の人材が集まるロンドンが強いとの評価は欧州金融界で共有されていただけに、離脱後の現状に衝撃が走ったといえる。有能な人材がビジネスチャンスを求め、大陸側に移りつつある現実。

英国の試練は今後も継続すると覚悟しておいた方がよさそうだ。

「ブリティッシュ・プログレッシブ・ロック」:

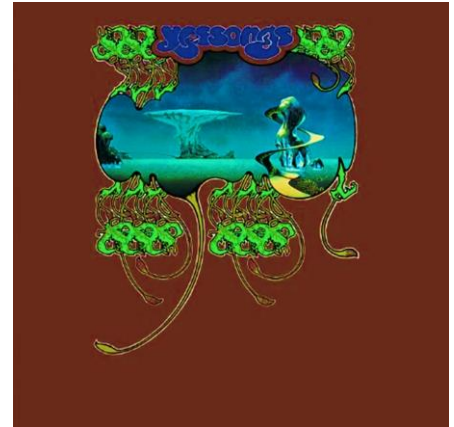
青春時代に私を最も魅了した音楽は英国のプログレッシブ・ロックだった。通称、ブリティッシュ・プログレ。1970 年に多くのプログレバンドが登場した。だが、それはビートルズやローリング・ストーンズのようなロックの大きな流れの中で主流を占めるものではなく、英国発祥の個性的な一分野であり傍流に過ぎない。一般に印象付けられた反権威や不良性というロックの持つ思想傾向とは異なるし、政治、文化、ファッションの面でも大きな影響を世の中に与えたとはいえないジャンルのロックだった。

当時輩出したプログレのバンドだが、実はビートルズのアルバム「サージェント・ペパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド」に衝撃を受け誕生したとされる。このアルバムの構成はまさに画期的で、「サージェント・ペパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド」なる架空の楽団の一夜の演奏会を一枚のアルバムの中で展開するというコンセプトに基づいて作られた。

こうして誕生したプログレッシブ・ロックの嚆矢はキング・クリムゾン。デビューアルバムは「クリムゾン・キングの宮殿」。アルバムの冒頭の曲は「21 世紀の精神異常者」で、世界のロックファンに大きなインパクトを与えた。他に「エピタフ」という名曲も収録されている。日本の歌手の間でもこの曲のファンは多く、ザ・ピーナッツやフォーリーブス、西城秀樹などがカバー曲を出している。

いわゆる LP レコードと称するアルバムには、ふつう片面約 20 分、両面で約 40 分の曲が収録されていた（当時カセットテープの主流は 46 分だった）。この約 40 分という限られた時間内でミュージシャンたちは思いの丈を表現し、我々にメッセージを届けた。通常、アルバムには、1 曲約 4 分で片面に 5 曲、合計 10 曲が収録されていた。かたや、プログレバンドは、1 曲で 20 分の片面を目一杯使って表現する「長尺」作品を紡ぐケースが多かった。

プログレの定義とは何か？ リスナーによってその考え方はいろいろだ。私なりの解釈では、①これまでのロックになかった進取で前衛的（progressive）な思想や手法、スタイルを持つ、②アルバム中心主義でシングルカットを前提としない、③作品のテーマが人間の根源に迫る哲学的、宗教的、古典的、SF 的、幻想的と多岐に渡り、現代社会を批判しシニカルにとらえたもの、④音楽的にはクラシック、ジャズ、民族音楽、現代音楽などの影響を受けたスタイルで 4 ビート、8 ビートのようなシンプルなロックナンバーは少ないこと、などが挙げられるのではないかと思う。



「イエスソングス」の
アルバムジャケット

プログレの代表的なバンドをご紹介したい。前述したキング・クリムゾン、ピンク・フロイド、エマーソン・レイク・アンド・パーマー（ELP）、イエスが「四天王」で、それにジェネシスを加えると「5 大バンド」というのがロック史の定説になっている。

この中で私が最も気に入りはまっていたバンドはイエスだった。1968 年から活動を開始し、休止時期もあったがメンバーチェンジを繰り返しながら現在も活動中だ。初期の代表作には、「こわれもの」、「危機」、「海洋地形学の物語」、「究極」などがあり、活動停止期間を経た後、「ロンリーハーツ」を発表、その後分裂したメンバーが、他のプログレバンドのメンバーとエイジアやバグルスというバンドを作ったりした（前者は「ヒート・オブ・ザ・モーメント」、後者では「ラジオ・スターの悲劇」の楽曲が有名）。こういった歴史をもつイエスだが、私にとって偉大なイエスの曲たちは初期のものである。

スタジオ録音のオリジナルアルバムをベースに聴いていたが、初の公式ライブ・アルバム「イエスソングス」（3 枚組 LP）には衝撃を受け、これがベストだと思っている。オープニング曲はストラヴィンスキー作曲のクラシック音楽「火の鳥」で、「シベリアン・カートゥル」、「ヘンリー 8 世の 6 人の妻」、「危機」などが収録されている。スタジオ録音の完成度に比べると粗さはあるが、ライブならではの感動を堪能できる大傑作である。1973 年にリリースされたこの 3 枚組アルバムの値段は 4500 円だった。乏しい小遣いをやり繰りし、手に入れた思い出がある。アルバムジャケットは非常に凝っていて、さらに解説や付録、物語性のあるイラスト、オールカラーのステージ写真集が備わった豪華で内容満載なアルバムだった。

イエスを中心にどっぷりはまっていたプログレ。でも理解することは非常に難しかった。詞は難解で言葉の壁や文化の壁を実感した。英語の歌詞が外国人だから理解しづらいという側面よりも、英語の意味が分かって、作者の意図が容易に理解できないという側面の方が大きかった（後に作者自身さえ、その詞の意味をよく分からず紡いでいたと知ったが）。分からないまま、壮大なスケールと音楽の完成度にはまっ

ていったわけだが、その理由は、プログレは長大で理解するにはリスナーに一定の努力さえ求める音楽、という側面があったからだろう。誰かと聴いて、共感したり議論したりといった「考えるロック」に、背伸びをしたい年ごろの自分が共感していったのだろうか。

来日したプログレ・ロックバンドのライブコンサートにも幾度か訪れた。浅草国際劇場でキング・クリムゾン、イエスは渋谷公会堂、ピンク・フロイドを代々木オリンピックプールで、ジェネシスには縁がなかったが、ソロになったピーター・ダヴリエルやフィル・コリンズのコンサートには足を運んだ。

BB) 欧州産地状況：

首都圏の欧州製品の3月末現在の在庫量は約17,000m³程度。直近のデータでは約16,000m³とあまり変わらず低位の在庫水準が続いている。積み遅れ、及び契約量の圧縮が影響し、国内の在庫数量は危機的な状況まで減少している。

住宅部材として、必要不可欠な構造用集成材。これがなければ住宅は建たない。輸入集成材だけでなく、国内生産の集成材の供給も逼迫している。集成材原料のラミナ製品の価格高騰もさることながら、需要を満たす数量確保がままならないことで、国内メーカーは減産、もしくは出荷制限せざるを得ない状況が現実味を帯びている。当初、このような事態はせいぜい夏場にあらわれるのではないかとみられていたが、既にその兆候は見え始めている。プレカット工場の多くは材料不足を理由に受注制限を行っている一方、ビルダーの受注は増えている。このアンバランスな状態の中で見方を変えれば、製品高騰による価格の末端への転嫁が進むきっかけになるのではないかと期待している。いや、そうならざるを得ないだろう。

先日交渉が終了したWW間柱。コンテナ運賃の上昇や原料の争奪戦に伴う素材価格の高騰、日本市場以外への販売の有益性等が作用して、オフア価格はおしなべて100ユーロアップ。これは先月の産地情報で述べたWW集成材管柱、Red集成材平角の第2四半期価格交渉時の上昇幅とほぼ同じ。数量自体も非常に抑制されたものだった。結果として、国内の在庫数量を鑑みると、オフアを丸呑みする以外、道はないとの認識で産地サイドに押し込まれた印象。かつて経験のないほどの高値で決着した。

北米関係

AA) トピックス (マスターズ)：



ゴルフの4大メジャー選手権のひとつであるマスターズ・トーナメントで、松山英樹選手が日本人男子初のメジャー制覇を果たした。

大会3日目、悪天候による一時中断の後、雨でコンディションが変わったコースを上手く攻略し一気にトップに躍り出た。

そして最終日も緊迫した場面はあったものの、無難に切り抜けた。

堂々たる優勝。松山は、今回が10回目のマスターズ出場だった。10回目でつかんだ大きな勲章。地元メディアも今大会での松山の戦いぶりを好感してそれを絶賛し、日本のゴルフ界は新たな時代を拓き、大き



く前進したと報じた。

この前の週に行われた女子アマチュアゴルフ選手権でも17歳の梶谷翼選手がプレーオフの末、優勝を果たした。アメリカでは長引くコロナ禍中のストレスの捌け口になっているのか、それとも相対的に経済的に成功しているアジア系住民へのやっかみがあるのか、アジア系への憎悪が膨れ上がり暴行に至る行動が社会問題化し、頻繁にメディアで取り上げられている。

その最中での今回の松山の戦いぶりは、それらを払拭させる力を与えた。

世界のトップレベルで活躍する日本の若いアスリートたちはゴルフ界だけにとどまらない。野球では大谷翔平、バスケットで八村塁や渡邊雄太、テニスは大坂なおみ選手など。今後も彼ら若者たちがスポーツを通じ、人種を超えた感動を世界の人々に与え続けていくことを期待している

BB) 産地現状 :

1) 原木関係 :

米国における丸太伐採は順調で大手シッパーも適正在庫を保っているが、高騰し続ける製品価格を受け、地場工場は原木確保に向け積極的に事業拡大している。そのため、産地における原木高の状況はしばらく続くと思われる。日本向け輸出の大手シッパーの対日供給方針は、この状況は織り込み済みとし、変更はない。価格も国内向けに連動する形で値上がり、運賃上昇も伴って、日本側にとってコスト的に厳しい状況はしばらく続きそうだ。

2) 製品関係 :

好調な住宅市場に牽引され高値で推移している米製品市場。冬場の悪天候で一部工事が遅れていた地域も春になり本格的に資材確保に動き出し、一段と製品価格は上昇。世界的な資材不足もあり、先行きも米製品市場は値上げ傾向が続くだろう。

米国内での製品価格はこの1年で3倍近く値上がった (CME =シカゴ・マーカンタイル取引所= のサイトをみると一目瞭然)。その上人件費 その他費用の値上がりでかなりのコスト高になっている。今後、このコスト高を好調な住宅市場がどこまで吸収できるかが注目される。先月の産地情報で述べた分譲業者の業績を左右する “5つのL” のうち、Lumber (木材価格)と Labor (人件費) の上昇が懸念材料だが、まだまだ業界は好調さを保っている。商務省がこのほど発表した今年1月から3月までのGDPの伸び率は、年率換算でプラス6.4%と3期連続の改善だ。米国ではGDPのおよそ7割を個人消費が占めているが、それも10.7%増で、住宅投資も10.8%増。

だが、明るい話ばかりではない。それは、新型コロナウイルス感染拡大のパンデミックによって、数百万人のアメリカ人が住宅ローン返済遅延や家賃の滞納をしている現実だ。当面はコロナ救済法の恩恵を受け、これら滞納者に対する “立ち退き要求禁止措置” によって立ち退きを免れることはできるが、コロナ救済法が失効すると、2008年並の住宅ローン滞納による大量の差し押さえが発生する可能性がある。従い、上っ面だけをみて “好調な住宅市場” と手放しに喜べない側面もある。

概況

東京 15 号地 在庫推移 :

2020 年 :

5 月 28 日現在 :	米加製品 34,220	欧州製品 33,199	ロシアその他 81,608m3	計 149,027m3
6 月 29 日現在 :	米加製品 34,007	欧州製品 37,880	ロシアその他 87,347m3	計 159,234m3
7 月 30 日現在 :	米加製品 35,074	欧州製品 42,085	ロシアその他 85,077m3	計 162,236m3
8 月 28 日現在 :	米加製品 31,890	欧州製品 46,932	ロシアその他 77,380m3	計 156,202m3
9 月 29 日現在 :	米加製品 28,773	欧州製品 42,552	ロシアその他 67,797m3	計 139,122m3
10 月 29 日現在 :	米加製品 24,172	欧州製品 30,417	ロシアその他 56,252m3	計 110,841m3
11 月 27 日現在 :	米加製品 22,574	欧州製品 24,044	ロシアその他 47,842m3	計 94,460m3
12 月 24 日現在 :	米加製品 20,476	欧州製品 17,836	ロシアその他 38,393m3	計 76,707m3

2021 年 :

1 月 28 日現在 :	米加製品 21,284	欧州製品 14,390	ロシアその他 36,390m3	計 72,064m3
2 月 25 日現在 :	米加製品 23,357	欧州製品 13,352	ロシアその他 37,101m3	計 73,810m3
3 月 30 日現在 :	米加製品 25,023	欧州製品 16,985	ロシアその他 34,950m3	計 76,958m3

4 月 28 日現在 :

米加製品 24,508m3 欧州製品 15,371m3 ロシアその他 (含む中国) 38,312m3 計 78,191m3
前月比 1,233m3 の増。米加製品 515m3 減、欧州製品 1,614m3 減、ロシアその他 3,362m3 の増。

住宅概況 :

2021 年 2 月の新設住宅着工数は 60,764 戸で、前年同月比で 3.7%減。また前年同月比 20 カ月連続の減少だ。2 月分では、直近最低の 2010 年の 56,527 戸に次ぐ低水準。2021 年 1-2 月の着工数は、昨年同期より約 4,000 戸減った。20 年度着工総数は 81 万戸を割りそうな雰囲気だ。

以上